

岡山芸術交流2019

パブリックプログラム シンポジウム

■主催：岡山芸術交流実行委員会 ■共催：山陽新聞社

岡山芸術交流
Okayama Art Summit



アートが“変える” ひとづくり、まちづくり

岡山芸術交流2019のイベントとしてシンポジウムを開催します。
基調講演やパネルディスカッションを通じて、アートの持つ可能性や、
ひとづくり、まちづくりへの広がりなどととも、アートの本質を掘り下げます。

平成31年 **3月15日(金) 19:00** 開場18:30
終了/20:30(予定)

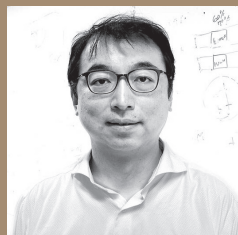
山陽新聞社 さん太ホール 〒700-8634 岡山市北区柳町2-1-1

参加無料

定員 **300** 名

基調講演

「ものを見るということ
～脳と心の関係の探求と共創～」



京都大学大学院
情報学研究所 教授
ATR脳情報研究所
客員室長(ATRフェロー)

神谷 之康
Yukiyasu Kamitani

奈良県生まれ。東京大学教養学部卒業。カリフォルニア工科大学でPh.D.取得後、ハーバード大学、プリンストン大学、ATR脳情報研究所を経て、2015年から現職。機械学習を用いて脳信号を解読する「ブレイン・アコーディング」法を開発し、ヒトの脳活動パターンから視覚イメージや夢を解読することに成功した。SCIENTIFIC AMERICAN誌「科学技術に貢献した50人」(2005年)、塚原伸晃記念賞(2013年)、日本学術振興会賞(2014年)、大阪科学賞(2015年)等を受賞。2018年、ATRフェローの称号を授与される。サーベントイン・ギャラリー(ロンドン)でのピエール・ユイグの展示“Umwelt”(2018年)のための映像を提供するなど、アーティストとのコラボレーションも進めている。

パネルディスカッション パネリスト



岡山芸術交流実行委員会
会長

大森 雅夫

岡山市長



岡山芸術交流実行委員会
総合プロデューサー

石川 康晴

公益財団法人
石川文化振興財団 理事長
株式会社スライインターナショナル
代表取締役社長



岡山芸術交流実行委員会
総合ディレクター

那須 太郎

株式会社TARO NASU
代表取締役
ギャラリスト



岡山芸術交流実行委員会
パブリックプログラムディレクター

木ノ下 智恵子

大阪大学共創機構
社会学創本部
(兼21世紀懐徳堂)
准教授

お申し込み・お問い合わせ

聴講希望の方は、下記の必要事項をご記入の上、
ハガキ、FAX、専用WEBサイトのいずれかより
お申し込みください。

- ①氏名 ②住所 ③電話番号
④年齢 ⑤職業 ⑥申込人数

※先着300名様に聴講券を発送いたします。

■専用WEBサイト

<http://c.sanyonews.jp/artsummit.html>

〒700-8634

岡山市北区柳町2-1-1(山陽新聞社 広告本部内)

岡山芸術交流シンポジウム事務局

TEL.086-803-8013

FAX.086-803-8113

スマホからはこちら▼



岡山芸術交流2019

会期:2019年9月27日(金)ー11月24日(日)

www.okayamaartsummit.jp/2019/

主催：岡山芸術交流実行委員会(岡山市・公益財団法人 石川文化振興財団・岡山県)

岡山芸術交流は、芸術を通じて国境や文化、世代を超えた様々な交流が生まれることをめざし、
岡山市で3年に一度開催する現代アートの国際展覧会です。

2回目となる「岡山芸術交流2019」は、アーティストティックディレクターに、
フランス出身でニューヨークを拠点に世界で活躍するアーティストのピエール・ユイグを迎えて、
岡山城・岡山後楽園周辺エリアの様々な歴史文化施設を会場に開催します。

beyond
2020